

北海道新幹線及び函館観光に関する 市民と観光客の意識調査

大橋 美幸

1. はじめに

北海道新幹線は2015年度末に新函館（仮称、以下略）駅の開業、2035年度に札幌までの延伸が予定されており、現行の函館－東京の約5時間30分を、新函館－東京で約4時間で結ぶとされている¹⁾。

北海道の試算によれば、札幌までの建設により約2兆5000億円、札幌までの開業により年間900億円の経済波及効果が推計されている。ただし、札幌までの開業初年度の経済波及効果のうち9割は札幌市であり、函館市を含む道南のシェアは5.9%にすぎない²⁾。函館周辺の従業員意識調査では、函館地域に与える影響予測としてプラス・マイナスがほぼ同数あり、観光客の増加期待とともに、ストロー現象による経済規模縮小が懸念されている³⁾。

問題のひとつは、新函館駅が函館駅から18キロ離れており在来線やバスなどへの乗り換えが必要であり、さらに札幌延伸時に新函館駅から函館駅がJR北海道から経営分離される点である¹⁾。

危機感を持った函館市は官民連携でアクションプランを策定し、新函館駅から函館駅の鉄道アクセスの充実を含め、「全市民をあげて観光客を迎える態勢づくり」、「函館観光の『質』の向上」などをあげている^{4, 5)}が、この認知度もあまり高くない⁶⁾。

北海道新幹線及び函館観光に関する2つの調査を行った。市民と観光客

の意識や利用意向を比較し、新函館駅開業に向けた函館観光の基礎的資料を作成する。

2. 北海道新幹線に関する調査

調査時期は2013年5月・6月。函館ベイエリアにおいて来街者アンケート調査を行った。函館ベイエリアは函館の観光スポットのひとつであり、赤レンガ倉庫などを利用したレストランや雑貨店が軒をつらね、観光客とともに函館市民が多く訪れる場所である。

調査項目は回答者基本属性（性別・年代・居住地など）、新幹線開通後の函館への客足の予測、新幹線の利用意向、新函館駅から函館駅までの移動手段などである。新幹線開通後の客足の予測及び利用意向は、新函館駅開業後から札幌延伸まで、札幌延伸後に分けて質問を行った。新函館駅から函館駅までの移動手段は、JR、バス、タクシー、車などの選択肢をもうけた。JRは快速17分（現在25分であるが新函館駅開業に合わせて電化工事が進められており短縮される予定）、バスで約50分・現行640円程度、タクシーで約30分・4,800円程度である。なお、5年前に行われた函館周辺の従業員意識調査では自家用車の利用がもっとも多かった³⁾。

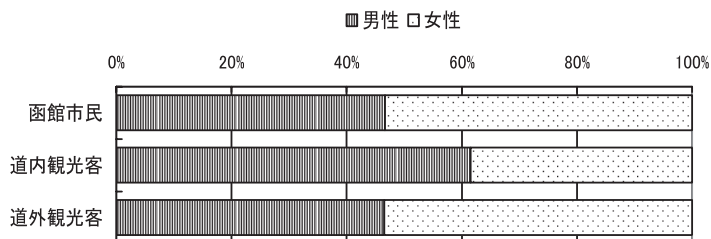
調査結果は、函館在住者を函館市民、函館市以外の北海道内在住者を道内観光客、北海道以外在住者を道外観光客として比較を行った。

(1) 回答者基本属性

函館市民45人、道内観光客26人、道外観光客58人、計129人。道外観光客は東北20人、関東30人、中部2人、関西4人、九州2人であった。

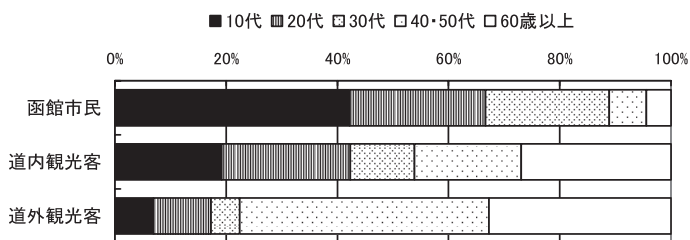
男性64人、女性65人。10代28人、20代23人、30代16人、40・50代34人、60歳以上28人。函館市民は10・20代が多く、道外観光客の東北は40・50代、関東は60歳以上が多い【図表2-1、2-2】。

図表 2-1 回答者基本属性：性別



	男性	女性
函館市民	21 (46.7%)	24 (53.3%)
道内観光客	16 (61.5%)	10 (38.5%)
道外観光客	27 (46.6%)	31 (53.4%)
うち関東	14 (46.7%)	16 (53.3%)
東北	11 (55.0%)	9 (45.0%)
合計	64 (40.6%)	65 (59.4%)

図表 2-2 回答者基本属性：年代



	10代	20代	30代	40・50代	60歳以上
函館市民	19 (42.3%)	11 (24.4%)	10 (22.2%)	3 (6.7%)	2 (4.4%)
道内観光客	5 (19.2%)	6 (23.1%)	3 (11.5%)	5 (19.2%)	7 (27.0%)
道外観光客	4 (6.9%)	6 (10.3%)	3 (5.2%)	26 (44.8%)	19 (32.8%)
うち関東	0	3 (10.0%)	0	10 (33.3%)	17 (56.7%)
東北	3 (15.0%)	2 (10.0%)	2 (10.0%)	12 (60.0%)	1 (5.0%)
合計	28 (21.7%)	23 (17.8%)	16 (12.4%)	34 (26.4%)	28 (21.7%)

(2) 函館市民の新幹線に対する意識と利用意向

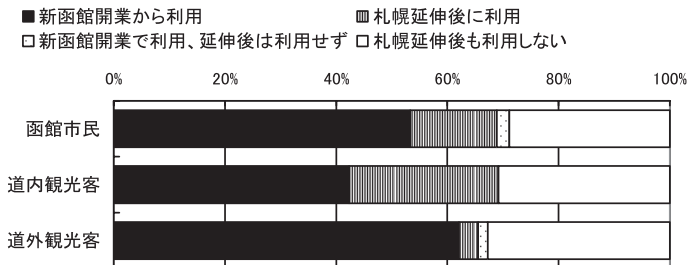
函館市民は半数が新函館駅開業から新幹線を利用すると答えており、加えて札幌延伸後にさらに利用しはじめる人もいる【図表 2-3】。新函館駅開業からの新幹線利用は東北、関東方面への移動に、札幌延伸後に利用しはじめる人は札幌方面への移動に新幹線を利用することが推測される。

新函館駅から函館駅までは4割がJR、25%がバスを利用すると答えている【図表 2-4】。

新幹線開通によって函館への客足が増えると思うか尋ねたところ、半数が新函館駅開業から増加し、札幌延伸後にさらに増えると思えている。しかし、観光客に比べると「増える」と答える割合は低い【図表 2-5】。

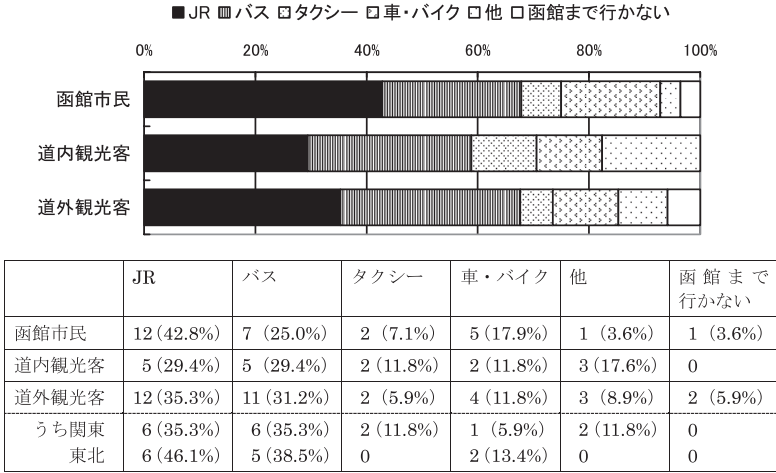
自由意見として「便利」、「高い」、「アクセスがいまいち不便、札幌に観光客が流れる」、「札幌に行くまでの通過点にしかならない」などがあつた。

図表 2-3 新幹線利用意向

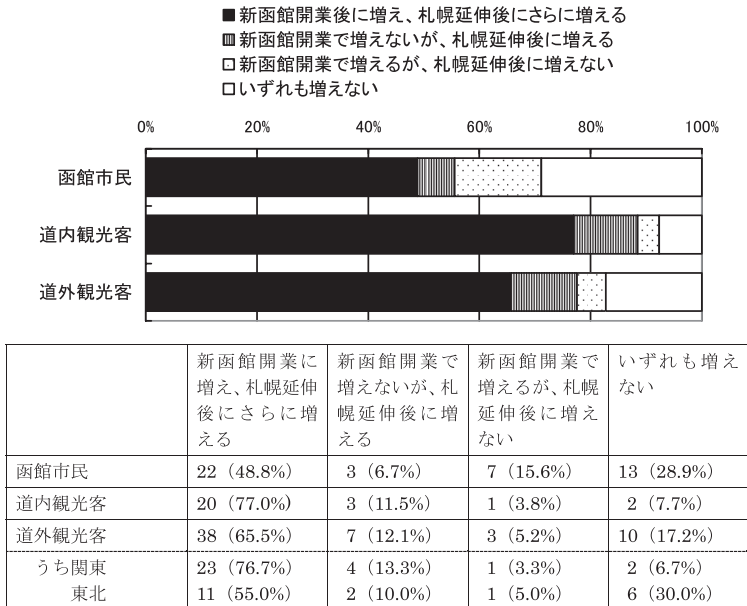


	新函館開業から利用	札幌延伸後に利用	新函館開業で利用、札幌延伸後は利用しない	札幌延伸後も利用しない
函館市民	24 (53.3%)	7 (15.6%)	1 (2.2%)	13 (28.9%)
道内観光客	11 (42.3%)	7 (26.9%)	0	8 (30.8%)
道外観光客	36 (62.1%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)	19 (32.8%)
うち関東	19 (63.3%)	0	1 (3.3%)	10 (33.3%)
東北	15 (75.0%)	1 (5.0%)	0	4 (20.0%)

図表 2-4 新函館駅から函館駅までの移動手段



図表 2-5 函館への客足推測



(3) 観光客の新幹線に対する意識と利用意向

道内観光客の4割、道外観光客の6割が新函館開業から新幹線を利用すると答えており、加えて道内観光客では札幌延伸後に利用するようになる者が2割いる【図表 2-3】。

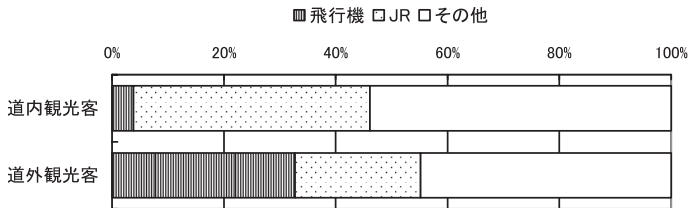
道内観光客の新幹線利用は主に新函館駅から東北や関東へ向かうことが推測される。札幌延伸後の利用は、札幌以北の地域に新幹線へのアクセスが容易になるためと考えられるが、その際の行き先は函館とは限らず、東北や関東方面への移動の通過点となってしまうことが考えられる。

他方で、道外観光客で札幌延伸後に利用するようになる者は少なく、東北や関東から新函館駅までは新幹線を利用するとしても、現段階で札幌へ移動する手段として新幹線が捉えられていないことが推測される。

現在の函館までの交通手段としてJRの利用は、道内観光客の4割、道外観光客の関東は7%、東北は55%である【図表 2-6】。道外観光客で函館までJRを利用する人は現在の13人から、新函館駅開業後に2.5倍（新幹線を利用36人）になる。しかし、飛行機などのJR以外からの変更を含んでおり、函館に来る回数の増加につながるものなのかは分からない。

新函館駅から函館駅までは道内観光客・道外観光客ともに3割程度がJR

図表 2-6 現在の函館までの交通手段



	飛行機	JR	その他
道内観光客	1 (3.8%)	11 (42.3%)	14 (53.9%)
道外観光客	19 (32.8%)	13 (22.4%)	26 (44.8%)
うち関東	9 (30.0%)	2 (6.7%)	19 (63.3%)
東北	4 (20.0%)	11 (55.0%)	5 (25.0%)

利用であり、同じく3割程度のバス利用と並んでいる【図表2-4】。

新幹線開通によって函館の客足が増えると思うか尋ねたところ、7割程度が新函館駅開業後から増加し、札幌延伸後にさらに増えると答えていた。しかし、近年、同様に新幹線が開通した東北で「増える」と答える割合が低かった【図表2-5】。

自由意見として道内観光客から「JRで十分」、「函館まで行く用事がそんなにない」、道外観光客から「とても便利」、「時間の制限がなくなる」、「料金が安い」、「北斗市（新函館駅）からは遠すぎる」、「関西から札幌へのアクセス便利」などがあった。

3. 函館観光に関する調査

調査時期は2013年5月。函館市地域交流まちづくりセンターにおいて来場者アンケートを行った。函館市地域交流まちづくりセンターは市民の交流、市民活動・NPO活動支援などと共に、観光案内所を兼ねており、函館市民だけでなく観光客が訪れる場所である。

調査項目は回答者基本属性（性別・年代・居住地など）、函館の名所・土産・食べ物のイメージ、観光情報の入手先、土産の購入先、函館の印象である。函館の名所は函館山ロープウェイ展望台、五稜郭タワーなど17の観光地の中から3つまで選択してもらった。函館の土産はチーズオムレット、白い恋人、イカなど12の中から3つまで選択してもらった。函館の食べ物はいかめし、塩ラーメン、ジンギスカンなど9種類の食べ物の中から3つまで選択してもらった。なお、白い恋人、ジンギスカンなど、函館に限らない北海道の土産・食べ物を一部含んでいる。

観光情報の入手先は旅行雑誌やガイドブック、インターネットなど7つの選択肢の中からあてはまるものすべてを選択してもらった。土産の購入先は函館駅、旅館・ホテルなど7つの場所の中から3つまで選択してもらった。函館の印象は「とてもよい」から「よくない」まで5段階で尋ねた。

調査結果は、函館市内在住者を函館市民、函館市以外の北海道内在住者を道内観光客、北海道以外在住者を道外観光客として比較を行った。

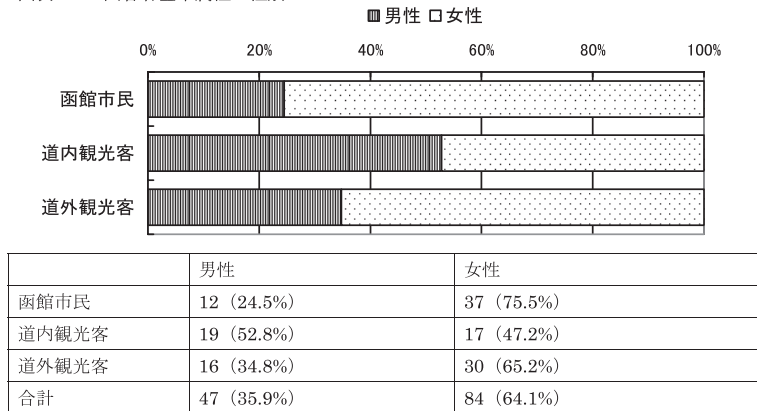
(1) 回答者基本属性

函館市民 49 人、道内観光客 36 人、道外観光客 46 人、計 131 人。

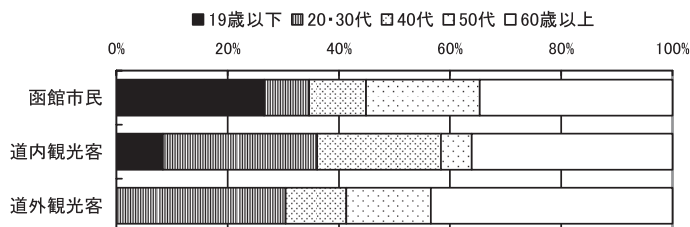
男性 47 人、女性 84 人、女性が多い。19 歳以下 16 人、20・30 代 28 人、40 代 18 人、50 代 19 人、60 歳以上 50 人。いずれも 60 歳以上が多いが、函館市民は 19 歳以下が約 1/4 を占める【図表 3-1、3-2】。

道内観光客はこれまでに 10 回以上函館を訪れている者が半数いる。道外観光客ははじめて函館を訪れた者が 3 割、2～3 回目が半数である【図表 3-3】。

図表 3-1 回答者基本属性：性別

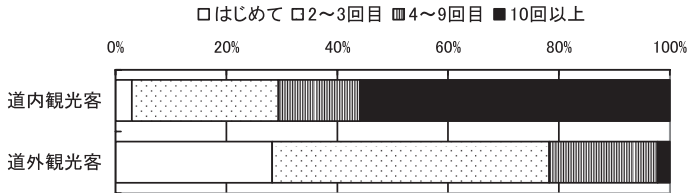


図表 3-2 回答者基本属性：年代



	19歳以下	20・30代	40代	50代	60歳以上
函館市民	13 (26.5%)	4 (8.2%)	5 (10.2%)	10 (20.4%)	17 (34.7%)
道内観光客	3 (8.3%)	10 (27.8%)	8 (22.2%)	2 (5.6%)	13 (36.1%)
道外観光客	0	14 (30.4%)	5 (10.9%)	7 (15.2%)	20 (43.5%)
合計	16 (12.2%)	28 (21.4%)	18 (13.7%)	19 (14.5%)	50 (38.2%)

図表 3-3 回答者基本属性：観光客のこれまでに函館を訪れた回数



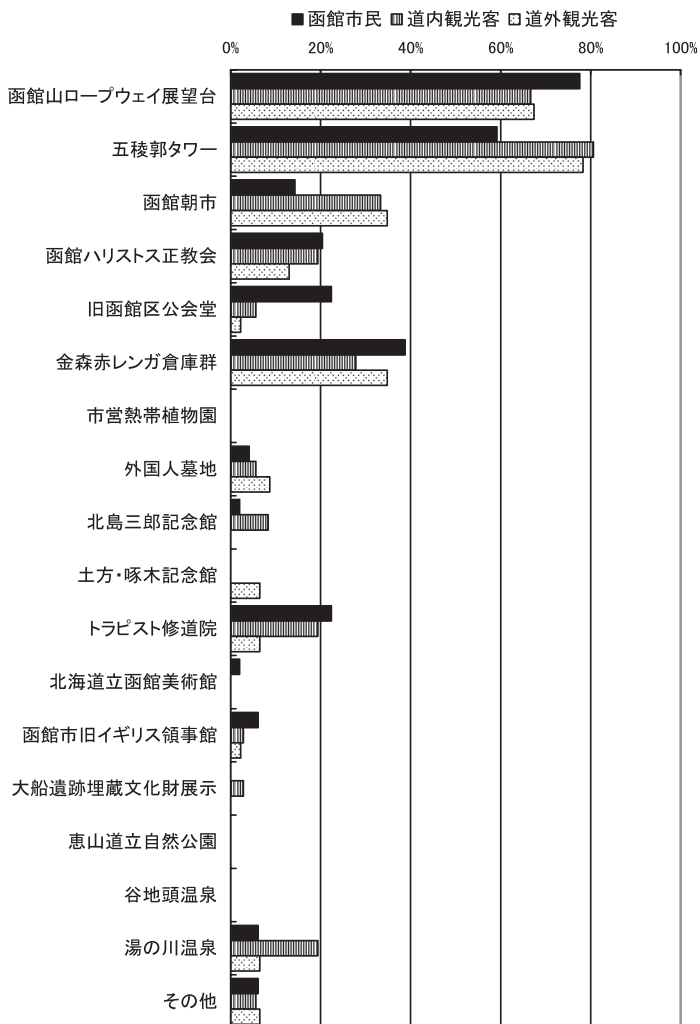
	はじめて	2~3回目	4~9回目	10回以上
道内観光客	1 (2.9%)	9 (26.5%)	5 (14.7%)	19 (55.9%)
道外観光客	13 (28.2%)	23 (50.0%)	9 (19.6%)	1 (2.2%)

(2) 函館の名所・土産・食べ物イメージ

函館の名所は函館市民、道内観光客、道外観光客ともに「函館山ロープウェイ展望台」、「五稜郭タワー」、「金森赤レンガ倉庫群」が上位に上がっている。「函館朝市」は観光客に比べて函館市民の位置づけは低く、逆に函館市民の2割があげている「旧函館市公会堂」は観光客にあまり名所として知られていない【図表 3-4】。

函館の土産は函館市民、道内観光客では「チーズオムレット」、「トラピストクッキー」が上位にあがるが、道外観光客でもっとも割合が高かったのは「白い恋人」である。「白い恋人」は函館に限った土産ではないが、道外観光客にとっては北海道で有名な土産が、函館の土産として捉えられていると推測される。イカは函館市民、道内観光客、道外観光客ともに上位にあげているが、道外観光客に特徴的なのはイカに加えてカニをあげている点である【図表 3-5】。

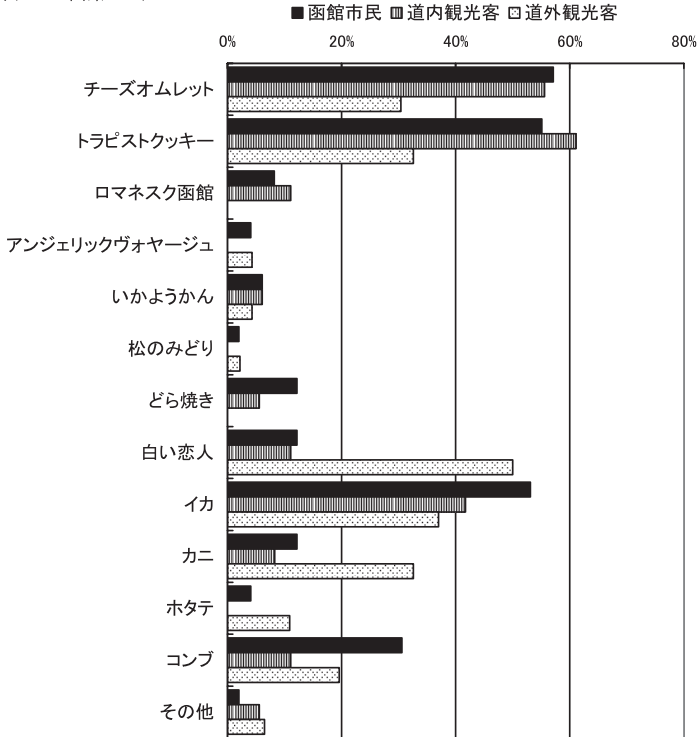
図表 3-4 函館の名所



	函館市民 (N=49)	道内観光客 (N=36)	道外観光客 (N=46)
函館山ロープウェイ展望台	38 (77.6%) <u>1</u>	24 (66.7%) <u>2</u>	31 (67.4%) <u>2</u>
五稜郭タワー	29 (59.2%) <u>2</u>	29 (80.6%) <u>1</u>	36 (78.3%) <u>1</u>
函館朝市	7 (14.3%)	12 (33.3%)	16 (34.8%) <u>3</u>
函館ハリストス正教会	10 (20.4%)	7 (19.4%)	6 (13.0%)
旧函館区公会堂	11 (22.4%)	2 (5.6%)	1 (2.2%)
金森赤レンガ倉庫群	19 (38.8%) <u>3</u>	10 (27.8%) <u>3</u>	16 (34.8%) <u>3</u>
市営熱帯植物園	0	0	0
外国人墓地	2 (4.1%)	2 (5.6%)	4 (8.7%)
北島三郎記念館	1 (2.0%)	3 (8.3%)	0
土方・啄木記念館	0	0	3 (6.5%)
トラピスト修道院	11 (22.4%)	7 (19.4%)	3 (6.5%)
北海道立函館美術館	1 (2.0%)	0	0
函館市旧イギリス領事館	3 (6.1%)	1 (2.8%)	1 (2.2%)
大船遺跡埋蔵文化財展示	0	1 (2.8%)	0
恵山道立自然公園	0	0	0
谷地頭温泉	0	0	0
湯の川温泉	3 (6.1%)	7 (19.4%)	3 (6.5%)
その他	3 (6.1%)	2 (5.6%)	3 (6.5%)

※ 1～3は割合の高いものの順位を示している

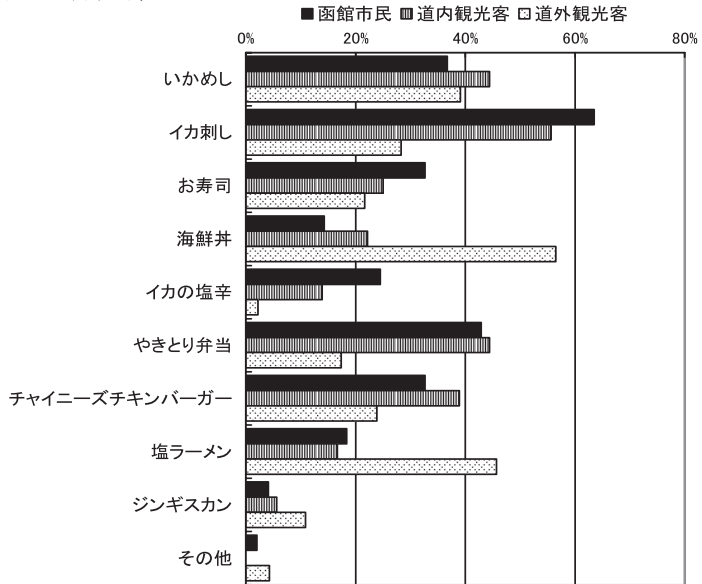
図表 3-5 函館の土産



	函館市民 (N=49)	道内観光客 (N=36)	道外観光客 (N=46)
チーズオムレット	28 (57.1%) <u>1</u>	20 (55.6%) <u>2</u>	14 (30.4%)
トラビストクッキー	27 (55.1%) <u>2</u>	22 (61.1%) <u>1</u>	15 (32.6%) <u>3</u>
ロマネスク函館	4 (8.2%)	4 (11.1%)	0
アンジェリックヴォヤージュ	2 (4.1%)	0	2 (4.3%)
いかようかん	3 (6.1%)	3 (6.1%)	2 (4.3%)
松のみどり	1 (2.0%)	0	1 (2.2%)
どら焼き	6 (12.2%)	2 (5.6%)	0
白い恋人	6 (12.2%)	4 (11.1%)	23 (50.0%) <u>1</u>
イカ	26 (53.1%) <u>3</u>	15 (41.7%) <u>3</u>	17 (37.0%) <u>2</u>
カニ	6 (12.2%)	3 (8.3%)	15 (32.6%) <u>3</u>
ホタテ	2 (4.1%)	0	5 (10.9%)
コンブ	15 (30.6%)	4 (11.1%)	9 (19.6%)
その他	1 (2.0%)	2 (5.6%)	3 (6.5%)

※ 1～3は割合の高いものの順位を示している

函館の食べ物は函館市民、道内観光客、道外観光客ともに「いかめし」が上位に上がっている。函館市民、道内観光客は「イカ刺し」を比較的多く上げているが、道外観光客でもっとも割合が高かったのは「海鮮丼」である。「やきとり弁当」は道外観光客にあまり函館の食べ物として知られておらず、逆に道外観光客には「塩ラーメン」が函館の食べ物として認識されている【図表 3-6】。図表 3-6 函館の食べ物



	函館市民 (N=49)	道内観光客 (N=36)	道外観光客 (N=46)
いかめし	18 (36.7%) <u>3</u>	16 (44.4%) <u>2</u>	18 (39.1%) <u>3</u>
イカ刺し	32 (63.5%) <u>1</u>	20 (55.6%) <u>1</u>	13 (28.3%)
お寿司	16 (32.7%)	9 (25.0%)	10 (21.7%)
海鮮丼	7 (14.3%)	8 (22.2%)	26 (56.5%) <u>1</u>
イカの塩辛	12 (24.5%)	5 (13.9%)	1 (2.2%)
やきとり弁当	21 (42.9%) <u>2</u>	16 (44.4%) <u>2</u>	8 (17.4%)
チャイニーズチキンバーガー	16 (32.7%)	14 (38.9%)	11 (23.9%)
塩ラーメン	9 (18.4%)	6 (16.7%)	21 (45.7%) <u>2</u>
ジンギスカン	2 (4.1%)	2 (5.6%)	5 (10.9%)
その他	1 (2.0%)	0	2 (4.3%)

※ 1～3は割合の高いものの順位を示している

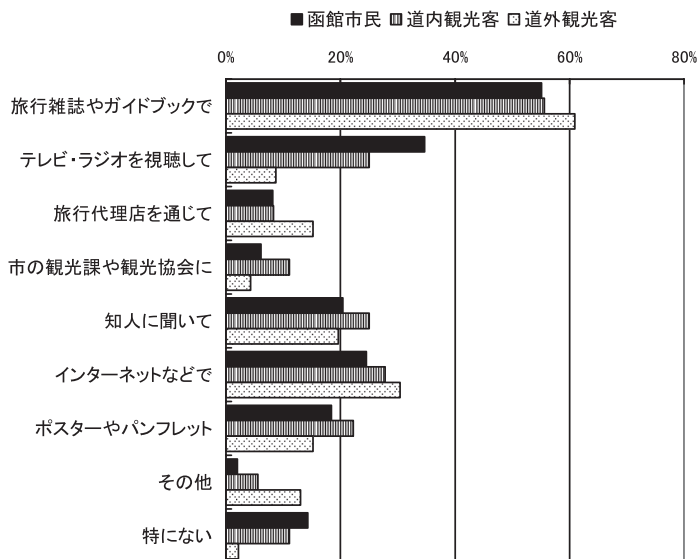
(3) 函館の観光情報の入手先・土産の購入先

函館の観光情報の入手先は、函館市民、道内観光客、道外観光客ともに「旅行雑誌やガイドブック」が多く、「インターネット」も比較的に利用されている。函館市民、道内観光客では「テレビ・ラジオを視聴して」得る情報もある。「知人に聞いて」という口コミは函館市民、道内観光客、道外観光客ともにそれぞれ2～3割を占めている【図表3-7】。つまり、前述した函館市民、道内観光客、道外観光客の、函館の名所・土産・食べ物へのイメージの違いは、観光情報の入手先の差異によるものではないことが推測される。

函館の土産の購入先は、函館市民、道内観光客、道外観光客であまり変わらず、「金森赤レンガ倉庫群」、「函館駅」が上位にあがっている【図表3-8】。前述した函館市民、道内観光客、道外観光客の函館の名所・土産・食べ物へのイメージの違いを一部反映して、函館市民では名所として位置づけが低かった「函館朝市」が道外観光客の土産の購入先となっており、道外観光客が函館の土産として上げているカニを選ぶ場所になっていることが推測される。

また、函館市民は半数近くが「函館空港」で土産を購入している。「函館空港」に特徴的なのは、函館市民、これまでに10回以上函館を訪れている道内観光客、はじめて函館を訪れる道外観光客が「函館空港」で土産を購入している点である。「函館空港」は慣れない観光客とリピーター及び函館市民が同時に土産を購入する場所となっている。

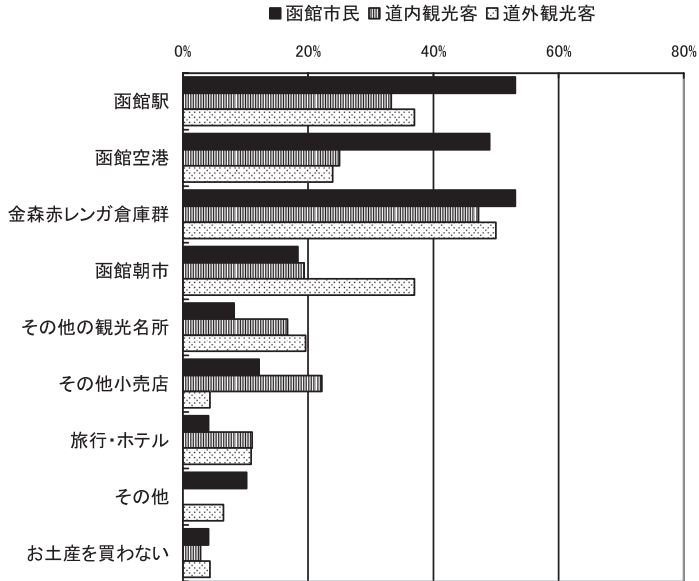
図表 3-7 函館の観光情報の入手先



	函館市民 (N=49)	道内観光客 (N=36)	道外観光客 (N=46)
旅行雑誌やガイドブックで	27 (55.1%) <u>1</u>	20 (55.6%) <u>1</u>	28 (60.9%) <u>1</u>
テレビ・ラジオを視聴して	17 (34.7%) <u>2</u>	9 (25.0%) <u>3</u>	4 (8.7%)
旅行代理店を通じて	4 (8.2%)	3 (8.3%)	7 (15.2%)
市の観光課や観光協会に	3 (6.1%)	4 (11.1%)	2 (4.3%)
知人に聞いて	10 (20.4%)	9 (25.0%) <u>3</u>	9 (19.6%) <u>3</u>
インターネットなどで	12 (24.5%) <u>3</u>	10 (27.8%) <u>2</u>	14 (30.4%) <u>2</u>
ポスターやパンフレット	9 (18.4%)	8 (22.2%)	7 (15.2%)
その他	1 (2.0%)	2 (5.6%)	6 (13.0%)
特にない	7 (14.3%)	4 (11.1%)	1 (2.2%)

※1～3は割合の高いものの順位を示している

図表 3-8 函館の土産の購入先



	函館市民 (N=49)	道内観光客 (N=36)	道外観光客 (N=46)
函館駅	26 (53.1%) <u>1</u>	12 (33.3%) <u>2</u>	17 (37.0%) <u>2</u>
函館空港	24 (49.0%) <u>3</u>	9 (25.0%) <u>3</u>	11 (23.9%)
金森赤レンガ倉庫群	26 (53.1%) <u>1</u>	17 (47.2%) <u>1</u>	23 (50.0%) <u>1</u>
函館朝市	9 (18.4%)	7 (19.4%)	17 (37.0%) <u>2</u>
その他の観光名所	4 (8.2%)	6 (16.7%)	9 (19.6%)
その他小売店	6 (12.2%)	8 (22.2%)	2 (4.3%)
旅館・ホテル	2 (4.1%)	4 (11.1%)	5 (10.9%)
その他	5 (10.2%)	0	3 (6.5%)
お土産を買わない	2 (4.1%)	1 (2.8%)	2 (4.3%)

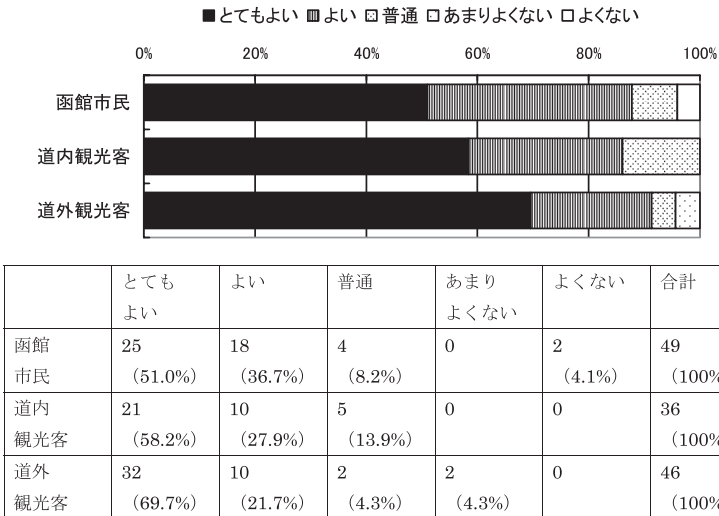
※ 1～3は割合の高いものの順位を示している

(4) 函館の印象

函館の印象は函館市民、道外観光客、道内観光客ともに高い【図表 3-9】。函館の名所・土産・食べ物のイメージ、観光情報の入手先などによる差は見られない。

函館市民、道外観光客、道内観光客で函館の名所・土産・食べ物のイメージが一部異なるのだが、それぞれのイメージの中で函館に対してよい印象を持っているようである。

図表 3-9 函館の印象



4. まとめ

新幹線について新函館駅開業から利用すると回答したものが函館市民で半数、道内観光客で4割、道外観光客で6割ある。現在の交通手段である飛行機やJRの代替か、新規利用が増えるのかはさだかでないが、市民・観光客を問わず、積極的な新幹線の利用が考えられている。新函館駅から函館駅

までの移動は多くがJRやバスが想定されている。

新函館駅開業による函館への客足予測を尋ねたところ、函館市民で半数、道内・道外観光客の7割程度が増えると回答した。「新函館開業で増えるが、札幌延伸後に増えない」、「新函館開業後、札幌延伸後いずれも増えない」を上回っており、市民はややトーンがおちるが、道内・道外観光客は非常に楽観的である。

新函館駅開業まで約2年半となった現時点において、新幹線は新函館駅から函館駅の鉄道アクセスに課題を残しているものの、函館市民、道内・道外観光客ともに利用やその効果が肯定的に捉えられている。

函館観光について、函館市民、道内観光客、道外観光客で、函館の名所・土産・食べ物のイメージは一部異なっている。これらは情報入手先の違いによるものではない。

ただし、函館市民、道内観光客、道外観光客でイメージが異なっても、函館に対する印象は総体的に良く、それぞれのイメージの中で満足が得られていると考えられる。

文献

- 1) 北海道新幹線新函館開業対策推進機構：北海道新幹線 2015 新函館開業ウェブサイト <http://www.shinkansen-hakodate.com> <2013.7.15 確認>
- 2) 北海道総合政策部交通政策局新幹線推進室：北海道新幹線札幌延伸による経済波及効果調査事業の概要、2013年6月
- 3) 北海道新幹線開業はこだて活性化協議会：北海道新幹線新函館駅開業に関するアンケート調査結果、2008年6月
- 4) 北海道新幹線開業はこだて活性化協議会：北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン、2008年12月
- 5) リクルート北海道じゃらん：2015年北海道新幹線新函館（仮称）開業で何が変わる？ 地域が今、すべきこと、観光会議ほっかいどう 2013 春号、2013年3月
- 6) 北海道新幹線新函館開業対策推進機構：北海道新幹線新函館駅開業に関するアンケート調査、2012年5月